

# ヨコハマ市民まち普請事業部会 第70回部会

日時：平成30年7月28日（土）13:00～15:00

場所：戸塚区役所8階中会議室2

## 【 次 第 】

### 1 開 会

### 2 議 事

- (1) 平成29年度整備箇所（熊野の森もろおかスタイル）の状況報告について
- (2) 第二次提案書について
- (3) 平成30年度活動懇談会について
- (4) 企業との連携について
- (5) その他

### 3 閉 会

#### 【資 料】

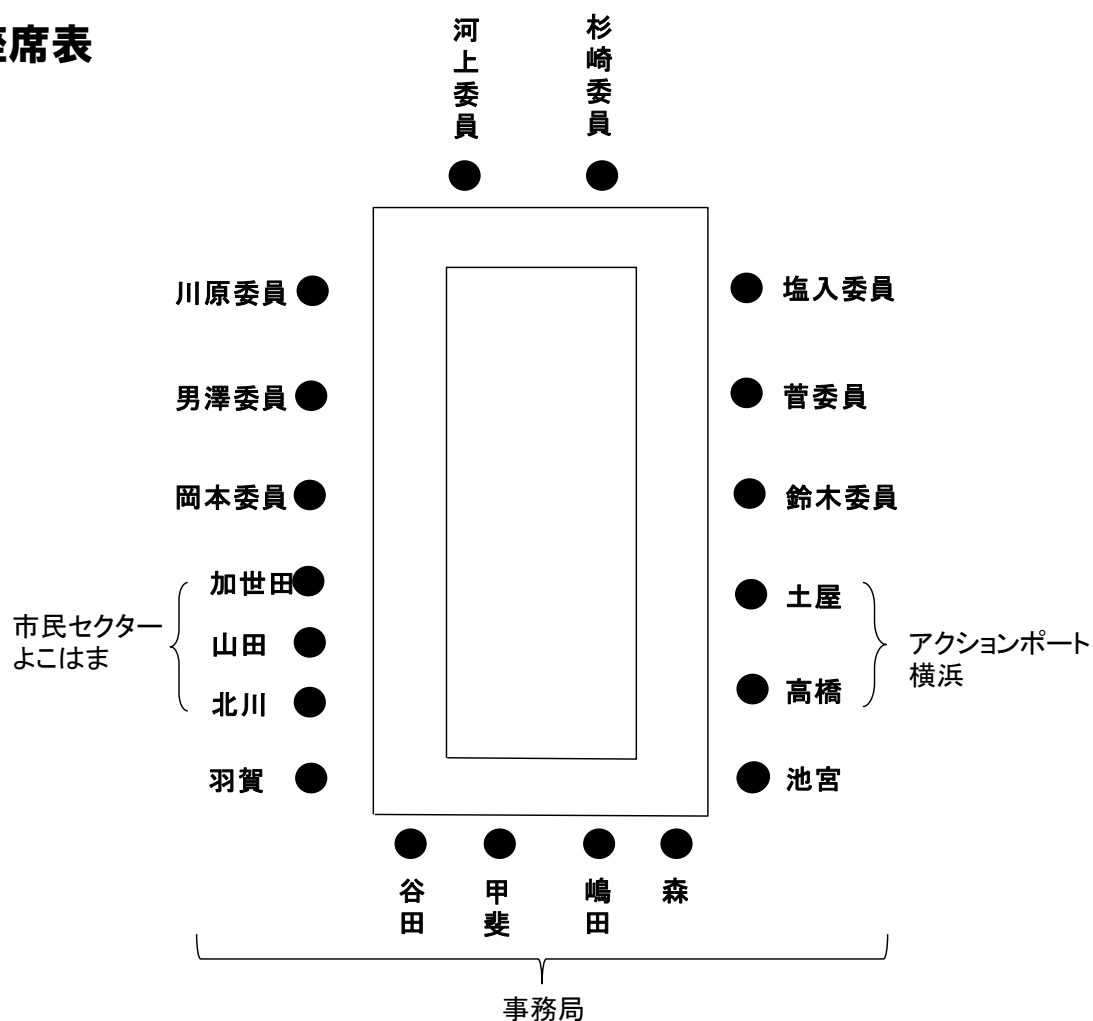
- (資料1) 平成29年度整備箇所（熊野の森もろおかスタイル）の状況について
- (資料2-1) 第二次提案書改定案のポイント
- (資料2-2) 事務局案について委員からいただいたご意見
- (資料2-3) 第二次提案書様式（案）【現改比較】
- (資料2-4) 第一次提案書様式（参考資料）
- (資料3-1) 活動懇談会企画案
- (資料3-2) 活動懇談会「ステップアップシート案」
- (資料4-1) 企業との連携について
- (資料4-2) 企業マッチング会成果（平成27～29年度）
- (資料5-1) 平成30年度一次コンテストアンケート結果
- (資料5-2) 平成30年度整備施設状況

## ヨコハマ市民まち普請事業部会 名簿

	氏 名	現 職
委員	おかもと 溢子 岡本 溢子	NPO法人さくら茶屋にししば理事長 (まちづくり・市民活動)
	おざわ まこと 男澤 誠	市民 (公募委員)
	かわかみ まきこ 河上 牧子	明治大学地域ガバナンス研究所客員研究員 (都市政策)
	かわはら すすむ 川原 晋	首都大学東京都市環境学部教授 (市民主体の地域運営・まちづくり市民事業)
	しおいり ひろなか 塩入 廣中	市民 (公募委員)
	すが ひろつぐ 菅 博嗣	(株)あいランドスケープ研究所代表取締役 (花とみどり・公園緑地)
	すぎさき かずひさ 杉崎 和久	法政大学法学部教授 (公共政策)
	すずき やよい 鈴木 やよい	NPO法人横浜市民アクト理事 (まちづくり)

(五十音順、敬称略)

### 座席表



## 平成 29 年度整備施設「太陽とコミュニティで耕すもろおかエコステーション」の状況報告

### 1 整備地の概要

- ・港北区師岡町 住宅街の中にある畑
- ・民有地であり、地主（ご夫婦）は整備地の隣接地に在住
- ・地主（主に奥さん）の善意により、提案以前から整備地で農作業やイベント等の活動を行っており、借用にあたり契約書など正式な文書の取り交わしはなかった。

### 2 経緯

H29 年 1 月 まち普請二次コンテスト通過

H29 年 4 月～ 整備

- ・整備内容：パーゴラ、物置、ソーラーパネル、風力発電等
- ・交付決定額：約 140 万円
- ・コーディネーター：内海さん

H29 年 6 月 18 日 整備地の利用にあたり、地主の指示により、土地利用誓約書を提出。

将来を不安に思ったグループが、整備地周辺の他の空き地で交渉するが、条件が折り合わず、当該地での整備を続行。

H30 年 2 月 13 日 完成目前のところ、地主から「自宅がある土地に保育園を建てることとした。整備地を資材置き場に利用するため、整備した施設を撤去すること」と通告があった。

H30 年 3 月～6 月 整備地周辺で移設先を調査。町内会などの協力により、民地と公園の 2 か所の土地管理者と協議。民地については、地主の理解が得られず頓挫。公園については、公園事務所及び指定管理者から理解は得られたが、指定管理者が来年度から更新されるため、新しい指定管理者との協議を要請された。今年度中の移設は困難な状況。引き続き、移設先を調査中。

H30 年 6 月 9 日 整備した施設の解体完了。

### 3 今後の対応

- ・5年間の維持管理を条件として助成金を交付しているため、一定期間の猶予期間内に移設が完了しない場合は、市は整備グループに返還を求めなければならない。
- ・助成金申請書に添付する必要がある書類として土地使用承諾書や契約書等を追加するなど、整備助成金交付要領の改定を検討する。



## ヨコハマ市民まち普請事業 二次提案書改定案のポイント

- 複数の審査基準にまたがった設問もあることから、設問を審査基準別に分ける体裁をやめました。
- 一次提案書の項目になるべく合わせ、一次からの「伸びしろ」を把握できるようにしました。  
(一次提案書同様、まち普請事業は「単なる施設整備ではなく、施設整備を通じたまちづくり」であるという趣旨をふまえ、「施設の活用イメージ」・「目指す地域の将来像」の設問を新設しました。)
- 添付資料(計画図、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1~3号様式)、その他資料)については、変更ありません。
- 各設問について

設問	審査基準	新設の設問か	一次提案書の設問との重複
整備する施設	①創意工夫 ②実現性 ④費用対効果	※既設	○
活用イメージ	①創意工夫 ③公共性 ④費用対効果 ⑤地域まちづくりへの 発展性	新設	○
提案の背景	③公共性 ⑤地域まちづくりへの 発展性	※既設	○
目指す地域の将来像	③公共性 ⑤地域まちづくりへの 発展性	新設	○
整備計画及び その実施方法	①創意工夫 ④費用対効果	※既設	○
維持管理・運営計画 及びその実施方法	①創意工夫 ④費用対効果	※既設	○
その他提案について 特にPRしたい点	—	既設	○
関係者の合意・調整 状況	②実現性	既設	×
設計及び整備の スケジュール	②実現性	既設	×

※設問の文言を変更しています。

## 二次提案書事務局案について委員からいただいたご意見

委員名	意見
岡本委員	事務局案で了承
男澤委員	事務局案で了承
河上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問の（）内説明について、分かりづらい箇所がある。</li> <li>・設問と審査基準との紐付けが分かりづらくなってしまった。</li> </ul>
川原委員	<p>①設問「整備する施設」 →どのような活動目的ですか。その目的のために整備したい施設の概要、必要な機能はなんのでしょうか。※施設の全体像と、その中で助成金を使って整備したい設備や場所を明記してください。</p> <p>②設問「活用イメージ」 →「活動・活用のイメージ」活動の全体像はどのようなものでしょうか？そのなかで整備する施設の活用の仕方は？※第一次提案より具体的に記入してください。 (地域の中のどのような場所か、というような地理的説明も欲しい。)</p> <p>③設問「目指す地域の将来像」 →昨今なんでも「まちづくり」といってしまうので、地域まちづくり活動とは何か？がわからなくなることがよくあります。欄外にでも説明できるといいのでは。例えば 「※まちづくり活動とは、地域の人を中心にあって進められる、地域の居住環境やコミュニティの改善活動や、地域の活力と魅力を高めて生活の質の向上を実現する活動のことです。」</p>
塩入委員	事務局案で了承
菅委員	<p>設問「目指す地域の将来像」における（）内の「地域コミュニティが広がる又は深まる可能性」は、「まちづくりを主体的に行う人が増える可能性」ということではないか。</p> <p>（）内の文言は、「整備をきっかけとして、まちづくりの主体が形成される可能性や、まちづくり活動が活発化する可能性にも触れて説明してください」としてはどうか。</p>
杉崎委員	—
鈴木委員	設問「整備計画及びその実施方法」のタイトルを「整備推進計画」に変更してはどうか。

## ヨコハマ市民まち普請事業 第二次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。  
 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。  
 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	区 町・丁目
提案名 (25字以内)	
助成金申請予定額	万円
整備する施設 (どのような施設の提案ですか) ※施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください	
活用イメージ (整備する施設でどのようなことを行いますか) ※第一次提案書より具体的に記入してください	

## ヨコハマ市民まち普請事業 第二次整備提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。  
 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

### 1 整備提案の概要について

整備提案名 (25字以内)	
提案グループ名 (25字以内)	
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	区 町・丁目
施設整備の概要	
整備助成金申請 予定額	万円
設計及び整備の スケジュール	

### 2 創意工夫について

計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)	
--	--

<p>提案の背景        (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)        ※第一次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	
<p>目指す地域の将来像        (整備をきっかけとして地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性にも触れて説明してください)</p>	
<p>整備計画及びその実施方法(つくるときに連携する仲間や活用する地域資源<sup>注4</sup>)に触れて説明してください)</p>	

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。        ※ 詳細については、「想定整備費用内訳書(第3号様式)」に記入してください。</p>	
<p>整備した施設の維持管理・運営<sup>注5</sup>計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。        注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	
<p><b>3 実現性について</b></p>	
<p>地域(地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等)での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	
<p><b>4 公共性について</b></p>	
<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。        ※ 第一次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	



維持管理・運営計画及びその実施方法（維持管理・運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください	
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	

注4）「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）	
設計及び整備のスケジュール	

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報が含まれていません。

## 5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>（材料の調達方法や施工業者への発注方法など）</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	
--	--

## 6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	
---	--

## 7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報が含まれていません。

第 3 号様式 (公開)

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第一次提案書

注 1) 3 号様式はページを増やさず、必ず 2 ページ以内でまとめてください。

注 2) 3 号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注 3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各 A 4 版 1 ページ、余白 15mm 以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	
現在の主な活動 内容・活動実績	
提案場所	区 <span style="float: right;">町・丁目</span>
提案名 (25字以内)	
提案する施設 (ど のような施設の提 案ですか)	整備費用の概算額：約 _____ 万円
活用イメージ (提 案する施設でどの ようなことを行い ますか)	
提案の背景 (なぜ 提案をするのか、 地域のニーズや課 題、生かしたい地 域の魅力等に触れ て説明してくださ い)	

<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）</p>	
<p><u>整備時の協働</u>（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源<sup>注4</sup>）に触れて説明してください）</p>	
<p><u>運営時の協働</u>（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源<sup>注4</sup>）に触れて説明してください）</p>	
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	

注4) 「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等 <sup>注5</sup> への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

ヨコハマ市民まち普請事業  
平成 30 年度 一次コンテスト通過グループ活動懇談会 企画案

NPO 法人 アクションポート横浜

## 1. 開催概要

【日 時】平成 30 年 9 月 8 日（土）14:00～16:30（or 16:40）

【会 場】横浜市市民活動支援センター 4 階

【対 象】平成 30 年度一次コンテスト通過グループ

【参加者】平成 30 年度一次コンテスト通過グループ、委員、過年度整備済みグループ（アドバイザー）、まちづくりコーディネーター、地域まちづくり課職員

【目 的】一次コンテスト通過グループが、二次コンテストに向けて取り組むまちづくり活動の内、体制と内容の検討状況、計画の具体化作業の進捗状況、整備個所周辺地域との合意形成の状況など、現状と課題を参加者と議論することで、今後の活動に役立てる。

## 2. 内容

### 《案 ①》従来型のテーブルを囲む形式

※対象グループには事前に「ステップアップシート」の作成を通じて、相談の内容を整理しておいてもらう。

	時間	内容
1	14:00～14:10 [0:10]	■開会（会場ごと） ・開会挨拶、進行説明、出席者紹介[地域まちづくり課 担当者]
2	14:10～14:40 [0:30]	■セッション 1 ・地域まちづくり課担当者から冒頭 1 分程度で、提案概要を説明する。 ・以降は、提案グループが「ステップアップシート」を元に進行し、委員やアドバイザーに二次コンテストに向けた今後の活動のアドバイスをもらう。
3	14:40～14:45 [0:05]	■グループ入れ替え
4	14:45～15:15 [0:30]	■セッション 2 ・同上
5	15:15～15:20 [0:05]	■グループ入れ替え
6	15:20～15:50 [0:30]	■セッション 3（1 会場のみ） ・同上（終了したグループは先に交流タイムに入る）
7	15:50～16:00 [0:10]	■事務連絡
8	16:00～16:30 [0:30]	■交流タイム ・基本的にフリートーク。特に一次コンテスト通過グループが、別会場の過年度整備済みグループ（アドバイザー）や委員と交流するための時間を想定している。

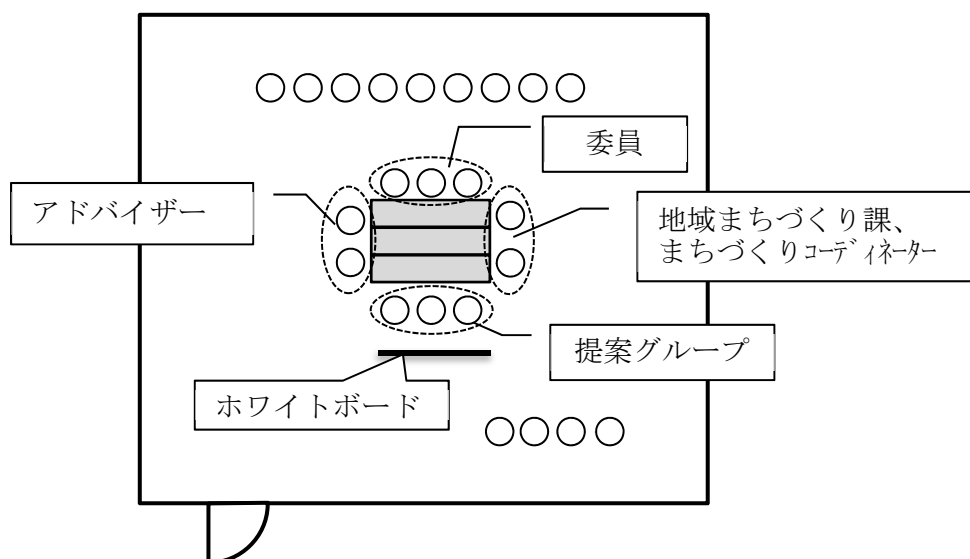
[会場構成]

(敬称略)

	A会場：文化・歴史	B会場：多世代交流	C会場：子ども・子育て支援
グループ 1 (コーディネーター)	富岡並木ふなだまり gionbune 公園愛護会	つみれプロジェクト実行委 員会	親子カフェ ことろん
グループ 2 (コーディネーター)	コンコン小径	おもいやり隊	子ども・子育て支援委員会
グループ 3 (コーディネーター)	笠間の湧き水を守る会	—	—
整備済 グループ	※検討中	※検討中	※検討中
委員	菅、杉崎、鈴木	川原、河上	岡本、男澤
市担当者	飯野、池宮、小嶋	石土、羽賀	田口、松岡

[各会場レイアウト]

※過年度は円卓形式で着席者間の距離が遠かったため、今年度は距離を詰めるとともに、ファシリテーター役をおかず、よりアクティブに議論が進むような設定とする。

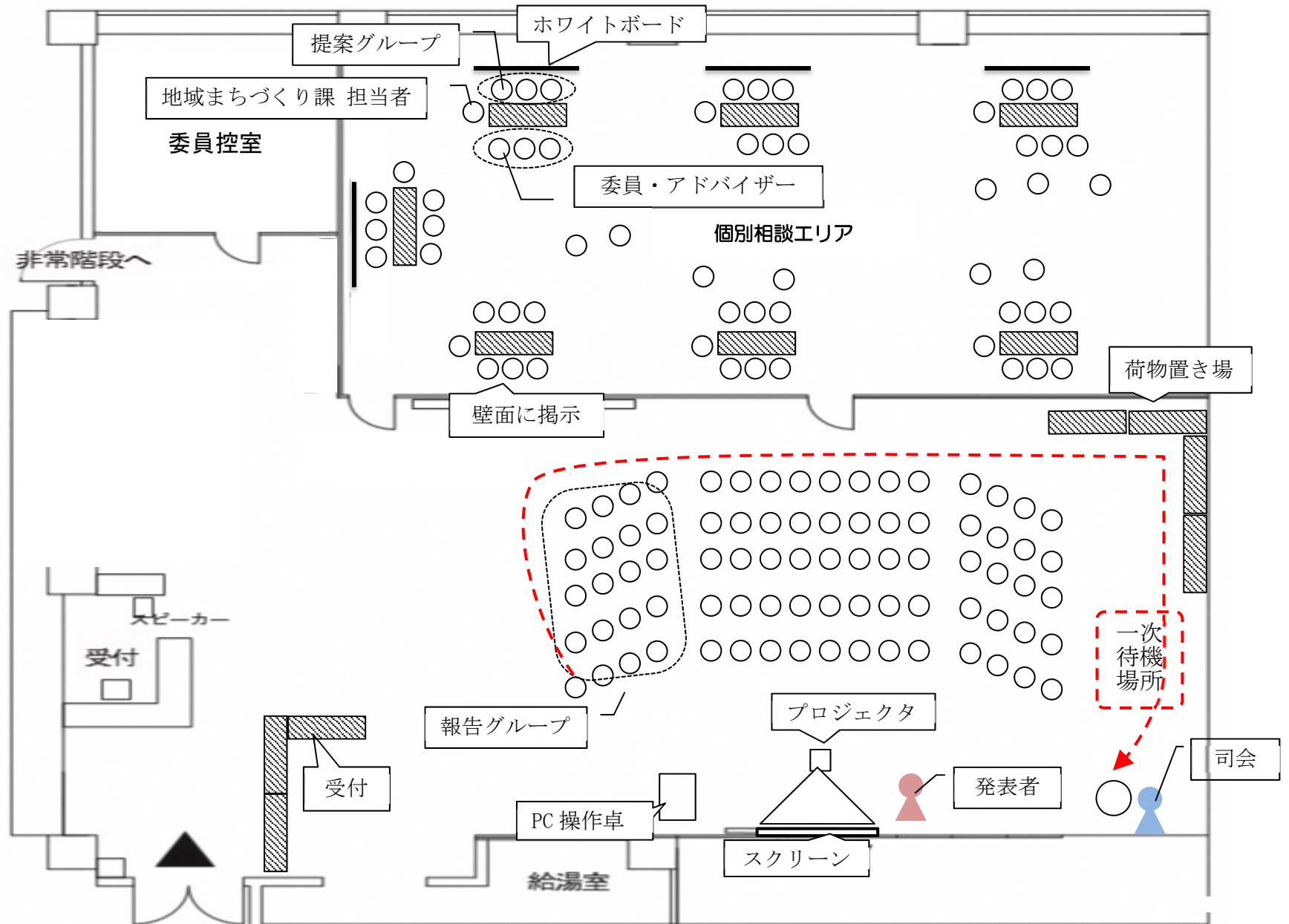


《案 ②》提案グループによる発表の後、ブース形式で相談

例年、同じ会場以外の委員からのアドバイスや、提案グループの話も聞きたかったという声があるため、その要望に応えるとともに、7グループが公平に相談できる方法を検討した。

	時間	内容
1	14:00～14:10 [0:10]	<b>■開会</b> ・開会挨拶、出席者紹介、参加者説明
2	14:10～14:55 [0:45]	<b>■提案グループよりステップアップシート発表</b> ・1グループ5分（入れ替え1分）で、ステップアップシートの中で特に相談したい点を重点的に発表 （ステップアップシートは委員、アドバイザーには配布するが、他の参加者向けには、スクリーンに大写しで投影）
3	14:55～15:05 [0:10]	<b>■会場入れ替え・休憩</b>
4	15:05～16:30 [1:25]	<b>■個別相談タイム（1グループずつ（11分+入れ替え1分）×7セット）</b> ・提案グループがブースを構え、委員・アドバイザーが各ブースを回り、個別に相談を受ける。 ・11分ごとに次のブースに移り、全てのグループと対面できるようにする。
7	16:30～16:40 [0:10]	<b>■事務連絡</b>

[会場レイアウト]



《比較》

	《案①》従来型のテーブルを囲む形式	《案②》提案グループによる発表の後、ブース形式で相談
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの議題に対して委員・アドバイザーから多様な意見をもらうため、深掘りできる。</li> <li>・落ち着いた雰囲気です話をする事ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案グループも他の全てのグループの説明（ステップアップシート）を聞くことができる。</li> <li>・全ての委員・アドバイザーから意見をもらえる。</li> <li>・待ち時間がないため、全ての時間を委員・アドバイザーとのやり取りに充てられる。</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての委員・アドバイザーから意見をもらうことができない（交流タイムで少しだけ担保するが）。</li> <li>・時間が余ってしまう場合がある。</li> <li>・自グループの時間以外は待っていないなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人の委員・アドバイザーと話せる時間が短い。</li> <li>・委員・アドバイザー同士の意思疎通が図れないため、やり取りが繰り返される可能性がある。</li> <li>・他のグループの委員・アドバイザーとのやり取りを聞くことができない。</li> <li>・スタッフ数の不足、会場のざわつきのため、記録（発言録）方法に課題がある。</li> </ul>





# ヨコハマ市民まち普請事業 活動懇談会 「ステップアップシート！」



整備提案名（グループ名）： \_\_\_\_\_

## 【①提案内容の整理】

**整備を通してめざす地域の将来像・目標：**

**その将来像・目標のために、整備する施設をどのように活用しますか(施設において何をしますか)：**

**整備した施設をより効果的により長く活用するための、維持管理や運営方法(費用の捻出も含めて)：**

**【②応募から二次コンテストまでの活動実績・予定！※写真の添付】**

活動には大きく、「知る」、「検討する」、「伝える」、「お願いする」、「巻き込む」などがあり、その方法として、「視察」、「アンケートの実施」、「勉強会・ワークショップの開催」、「広報紙の発行」、「訪問」などが考えられます。

求める成果(実施目的)	実施方法	日程(時期)	アドバイスがほしい点！
例)「整備する施設の仕様の検討」、「施設で行う活動」、「地域ニーズの把握」、「整備の実施方法の検討」、「維持管理・運営方法の検討」、「関係者の同意など」			
	二次コンテスト	H31 / 1 / 26	

# ヨコハマ市民まち普請

市民グループと企業との連携プラットフォーム

1

## まち普請事業 企業連携の取組

企業マッチング会(平成27年度～)

「提案内容のブラッシュアップ」や「整備時協力」等、連携が実現するよう一次コンテスト通過グループと企業(主に建設業・造園業)との出会いの場を設けた

◎実績	平成27年度:5社	28年度:3社	29年度:1社
◎連携内容	二次に向けた打合せへの参加、図面作成協力、施工協力等		

2

## まち普請事業 企業連携の取組

【共創フロントで連携の提案を募集】

ヤマト運輸×こまちカフェ・さくら茶屋(平成26・27年度)

ヤマト運輸のネットワークを生かし、ニーズに合わせた商品を全国から集め、コミュニティカフェで販売

①ヤマト運輸×こまちカフェ  
四万十市や北海道の商品を販売



ウェルカムベビーPJ  
に発展

②ヤマト運輸×さくら茶屋:  
被災地支援も兼ね東北三県の商品を販売

3

## まち普請事業 企業連携の取組

横浜読売会×地域まちづくり課(平成26年度～)

地域情報誌「ヨコハマよみうり」に  
まち普請事業の特集記事を掲載  
(提案募集開始直前の、2月・3月・4月号に掲載)



出典:「ヨコハマよみうり」  
2015年4月号

4

# 企業からのヒアリング結果

◎平成29年8月実施に主に建設業4社に実施

## 【企業マッチング会の感想】

- ・企業が興味のある、支援できる提案グループと話ができる方式の方がアドバイス可能
- ・あまり手ごたえがない。グループ側が何の協力が必要かわからない

## 【企業が協力しやすい内容】

- ・計画段階や技術面での専門家としてのアドバイスが可能
- ・まち普請事業の活動の運営についてアドバイスが可能
- ・作業中の事故を考えると工事監理の協力は難しい
- ・企業がどういった協力ができるか思い浮かばないことも多いので、選択肢を示してもらえると助かる

5

# まち普請事業 企業連携の振り返り

## ①企業マッチング会

- ・地域貢献に前向きでない企業も参加  
(本市からの依頼で趣旨を把握せずに参加)
- ・対話の時間が足りない  
→提案グループが何を求めているか企業も把握できない
- ・一次コンテストを通過した提案グループが参加対象  
→【企業】建設業が中心 【市民】整備済グループが参加できない

6

# まち普請事業 企業連携の振り返り

## ②企業×市民グループ

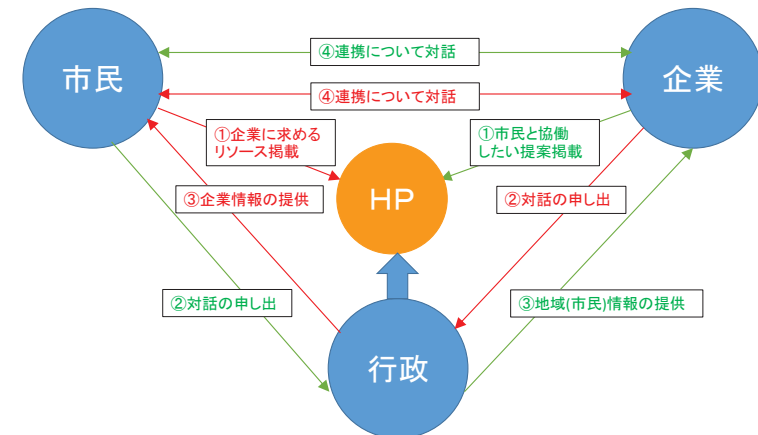
・「ヤマト運輸×こまちカフェ・さくら茶屋」以降の連携がみられない



- ・【企業】地域貢献意欲があっても何をしたいかわからない
- ・【市民】企業と連携するという発想がない
- ・企業連携の意思があっても、企業のリソースがわからない

7

# 市民グループと企業との連携プラットフォーム(案)



8

## 市民グループと企業との連携プラットフォーム(案)

### ◎プラットフォームを活用できる市民及び企業の条件

登録制とする

#### 【市民グループ】

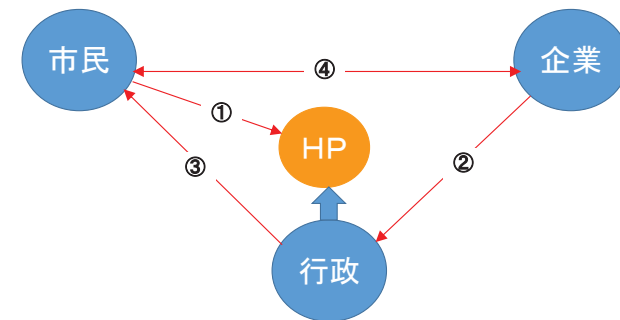
- ①当該年度に「まち普請一次コンテスト」を通過したグループ  
(二次コンテストに向けた検討や整備時の連携を想定)
- ②「まち普請二次コンテスト」を通過したグループ  
(整備や運営の連携を想定)

#### 【企業】

- ・「横浜型地域貢献企業」の認定を受けていること

## 連携想定1: 企業のリソースの活用(市民→企業)

- ①企業連携したい旨HPに掲載
- ②HPを見た企業から対話したい旨を伝える。
- ③行政から市民に対話の申し出あった旨を伝える。
- ④市民と企業の対話の実施



9

10

## 連携想定1: 企業のリソースの活用(市民→企業)

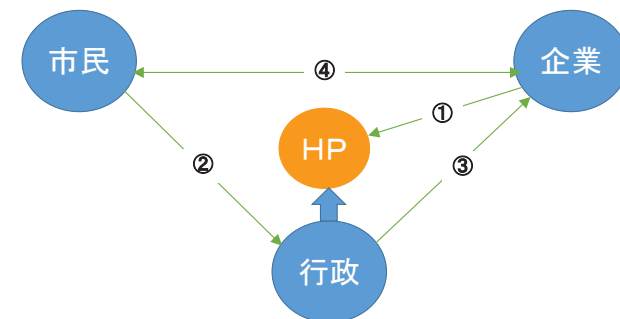
### 【参考】昨年度の「企業へのヘルプ依頼シート」

企業へのヘルプ依頼シート (横浜グループ用)	
<p>依頼のヘルプ名</p> <p>依頼内容の概要</p> <p>依頼内容</p> <p>【自由記入欄 (企業への内容を記入してください)】</p>	<p>【1. 依頼期間 (平成30年1月27日：二次コンテスト)】</p> <p>【2. 依頼期間 (平成30年4月～)】</p> <p>【3. 依頼内容の活用・運営 (活動実績等)】</p>

11

## 連携想定2: 企業からの提案を実施(企業→市民)

- ①市民と一緒にやりたいアイデアを掲載
- ②HPを見た市民から対話したい旨を伝える。
- ③行政から企業に対話の申し出あった旨を伝える。
- ④市民と企業の対話の実施



12

## 連携プラットフォームのメリット/デメリット

### ★メリット

- ・常時連携の機会が確保できる
- ・対話の時間が長く取れるので、双方の意向を深く理解できる
- ・建設業に限らない企業が参加できる
- ・(市民にとって)地域貢献意欲の高い企業とのマッチングが可能
- ・(企業にとって)実行力のある市民グループとのマッチングが可能

13

## 連携プラットフォームのメリット/デメリット

### ★デメリット

- ・HP運営の煩雑さ
- ・リーガルチェックの必要あり
  - ex) 登録企業は過去、法令違反がないか
  - ・企業からの提案は、法令違反ではないか

14

## 連携プラットフォームの検討事項

- ・事務局が、どこまで関わるか
- ・プラットフォームの存在を企業に周知する必要
- ・共創フロントとの整理が必要
- ・市民、企業ともに連携することによるメリットを理解してもらう

(特に、市民と連携する意義を理解している企業は少ないのが実態)

→cf)共創フロントでは「企業へのメリット」を次のように説明

- ・やりがいのある「まちづくりへの取組」の機会の提供
- ・企業への信頼や理解が得られ、市場調査では得られない市民の生の声、ニーズを把握する機会
- ・地域の課題解決と企業活動を結び付け、新たな事業領域を開拓できる人材育成の機会
- ・「まち普請事業」に関する広報媒体(ウェブサイト、広報誌等)で協力企業を横浜市が紹介

15

## ■平成29年度企業マッチング会 結果集計表■

提案グループ	荻子田太陽公園 愛護会	平安町 災害・福祉 地域交流センター建 設委員会	食育をすすめる なかまの会	warm place & サードプレイス	宮ノマエストロ	美しが丘アセス委 員会遊歩道ワー キンググループ
株式会社エムビーエス横浜支 店				●		●
株式会社太陽住建		●				
昭和建設株式会社						
横浜バンダイ株式会社		●	●			
株式会社三橋緑化興業	●					
日舗建設株式会社						●
弘前建設有限会社						●
石田建設株式会社					●	
株式会社安西組					●	
株式会社LIXILグループ	●			●	●	
株式会社レオパレス21			●	●		
シッpsレインワールド株式 会社	●	●	●		●	●

## ■企業マッチング会後の企業との協働実績



マッチング成立

## 【美しが丘アセス委員会遊歩道ワーキンググループ】

- ・日舗建設株式会社 ～ 整備段階での舗装工事における見積書の取得。



■平成28 年度企業マッチング会 結果集計表■

提案グループ	熊野の森 もろおかスタイル	「永谷ふるさと村」 設立準備委員会	子育てママ支援 warm place	FM上星川	谷矢部池公園愛護 会	めぐみてらす会
協和木材産業			●			●
睦建設			●			
ヤマト運輸	●		●	●		●
横浜市内装事業協同組合			●			
ヘルスマーケット・ジャパン			●			
アライグリーン		●			●	
キクシマ		●	●			
新世						
中村建設						
昭和建設				●		
田野井造園					●	●
谷津建設		●				
安藤建設						
横浜市塗装事業協同組合					●	
旭建設						
奈良造園土木						
北友建設	●					
第一フォーム			●	●		
大川印刷	●	●	●	●	●	●
大洋建設					●	●
日産クリエイティブサービ ス			●		●	
石井造園		●	●	●		
サクラコーポレーション						
アールシーコア	●	●	●	●	●	●
BESS-ZERO			●	●		
防災ジオラマ推進ネット ワーク	●	●	●	●	●	●
LIXILグループ			●	●	●	
土屋材木店		●		●	●	●

■企業マッチング会後の企業との協働実績

マッチング成立

【熊野の森もろおかスタイル】

・北友建設 ～ 図面の無料作成協力。(計画変更により作成に至らず。)

【子育てママ支援warm place】

・LIXILグループ ～ 二次コンテストに向け、技術面でのアドバイス。提案グループ打ち合わせに定期的に参加。

【谷矢部池公園愛護会】

・大洋建設 ～ 地域貢献として設計・工事費削減の協力。

■平成27年度企業マッチング会 結果集計表■

企業側から協力検討の意志表明があったもの：○ 企業、提案グループとも協力検討意向があったもの：◎

	下和泉湧水を守る会	日野中央洋光台エリアを元気にする会	六浦東・まち交流ステーション委員会	つづきっず、はい！
安西組	○			
安藤建設			◎	
石井造園	○	○	○	
石田建設	○			
大倉				◎
神原興業				◎
キクシマ		◎		
小菅造園	○			
渋谷興業		◎		○
春峰園			◎	
新世		○		○
大光造園建設	○		○	
千代田建設				◎
中村建設				
八千代				○
ヤマト運輸		○	◎	◎
鈴木機械彫刻所				○
横浜エージェンシー&Co		◎		

■企業マッチング会後の企業との協働実績

【下和泉湧水を守る会】

- ・小菅造園 ～ 整備予定地の樹木の伐採

【日野中央洋光台エリアを元気にする会】

- ・横浜エージェンシー&Co ～ 広報誌の作成協力

【つづきっず、はい！】

- ・大倉 ～ ワークショップへの参加
- ・千代田建設 ～ ワークショップへの参加、住民施工工事への技術指導（アスファルト塗装、地先ブロック設置等）、用具の無償貸与、残土処理、アスファルト舗装の施工
- ・ヤマト運輸 ～ 地域内において共同で小学一年生向けの交通安全教室を開催



## 平成30年度 ヨコハマ市民まち普請事業 一次コンテスト アンケート 単純集計結果

※原文ママ。四捨五入の関係で、パーセンテージの合計が100にならない場合があります。

※ [] 内昨年度実績。

【回収数】 52 [56] (参加者数：204名 [208] 内 提案グループ=96名 [114]、一般=108名 [94])

### 【回答者属性】

7. このコンテストにはどのような立場で参加されましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

整備提案グループメンバー	提案グループの応援に来た	来年度、提案を予定しているため	まちづくりに関心があるため
25 [22]	5 [13]	0 [0]	8 [11]
48.1% [39.3%]	9.6% [23.2%]	0% [0%]	15.4% [19.6%]
研究者	専門家・コンサルタント	行政職員	その他(※1)
1 [1]	0 [0]	7 [2]	3 [1]
1.9% [1.8%]	0% [0%]	13.5% [3.6%]	5.8% [1.8%]
無記入他	※1：その他の内容 = 「CP職員」		
3 [6]			
5.8% [8.6%]			

7. 年代および、居住エリアを教えてください。あてはまるものに○をつけてください。

《年代》

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無記入
1 [6]	4 [4]	8 [5]	8 [10]	9 [5]	10 [7]	11 [16]	1
1.9% [10.7%]	7.7% [7.1%]	15.4% [8.9%]	15.4% [17.9%]	17.3% [8.9%]	19.2% [12.5%]	21.2% [28.6%]	1.9% [5.4%]

《居住区》

南区	保土ヶ谷区	緑区	青葉区	泉区	栄区	都筑区	鶴見区
7 [2]	6 [1]	5 [0]	5 [10]	5 [5]	4 [0]	3 [3]	2 [11]
13.5% [3.6%]	11.5% [1.8%]	9.6% [0%]	9.6% [17.9%]	9.6% [8.9%]	7.7% [0%]	5.8% [5.4%]	3.8% [19.6%]

神奈川区	磯子区	中区	旭区	港北区	市外(※2)	無記入
2 [3]	2 [2]	1 [0]	1 [1]	1 [0]	4 [8]	4 [4]
3.8% [5.4%]	3.8% [3.6%]	1.9% [0%]	1.9% [1.8%]	1.9% [0%]	7.7% [14.3%]	7.7% [7.1%]

※2：市外の内容：藤沢市菖蒲沢、東京都江戸川区、品川区

## 【アンケート回答結果】

1. コンテスト全体を通してのあなたの満足度について、100点満点とした場合に何点か教えてください。  
(平均点：82.9点 [79.2点]、中央値：82.5点 [80点])

点数	人数	自由記述（上記の点数をさらに高めるにはどんな改善が必要だと思いますか。）
30	1	○採点者は奇数人員にすべき。一般的ではない。今回の様になってしまう！
50	1	○前半のプレゼンテーションから質疑応答までは満足度は高かったのですが、最後の審査方法に疑問が残りました。仕組みの改善を検討してほしいです。
60	1	○審査員は奇数であるべき
70	8	○①活動のプロセスをもっと知って欲しい。②プレゼンの時間が短かすぎる（時間の制約があるのでやむをえないと思うが） ○パワーポイントの活用等、どの席からも見やすく、聞き取りやすいととっても良いと思いました。 ○一般参加者もさんかできる場所もほしい。 ○会場が狭い。一般席が少なく、後ろからは見にくいので、ステージがあると良い。 ○後方は前方で発表する方たちのパネルが見えない（段差がなく椅子がずれていない）。通路が狭い。マイクの調子悪かったと思う。 ○進行は良いのだが、質問の雑さが少し見えた ○展示用パネルを吊るす工夫、ピンマイクにする。 (無記入：1)
75	1	○発表時もっと大きなアクションでやれば良かったかなと思いました。
80	12	○ビジュアル・・・不足 ○まち普請のコンセプトをもう少しわかり易く伝えてほしい。 ○もう少し短時間で終わってほしい ○決選投票の決着が予想して奇数で投票しておくこと（時間を要しすぎた） ○後ろで雑談している男性3名。大事な話が聞こえなかった。注意しないのですか？ ○最後のグダグダ ○時短 ○提案グループによって、かなり準備の差が大きいと感じました。 (無記入：4)
85	2	○発表時間は6→10分にすべき！発表内容を聞きやすくするため、説明手順、フォーマットを決める。 (無記入：1)
90	12	○もう少し広い会場がよい。小さな公会堂！！プレゼンは大きなスクリーンが欲しいです。 ○決選投票のプロセス ○公開発表、講評の際、話されている方々の表情が見えると良いなと思いました。 ○質疑公開の時に感じたことであるが、個人の土地、物件に市の税金で助成希望する案もある。そのような提案を採用する場合、別の説明が必要。 ○審査員と発表者の距離が近くて動きづらい ○審査方法（↓）の改善。6→7に枠が増えたのは素晴らしいことだと思う！ ○長時間が気になりました ○提案関係者以外の方が少ないので、難しいと思うが、その人達の質問を受けることがあっても良いのでは。 (無記入：4)

(承前) 1. コンテスト全体を通してのあなたの満足度について、100点満点とした場合に何点が教えてください。(平均点：82.9点 [79.2点]、中央値：82.5点 [80点])

点数	人数	自由記述（上記の点数をさらに高めるにはどんな改善が必要だと思いますか。）
95	1	(無記入)
100	9	○もっと早く見ておけば良かったと悔やまれます (無記入：8)
無記入	4	○（会場せまいですネ。一日がかりなので工夫して下さい） ○ゆっくりと話し、語尾をはっきりしてください。マイクの使い方を考えてください。全体としてはよく聞こえました。 ○人集めの場合、どういう方法で集めるかという点が足りない。 (無記入：1)

2. 審査方法（審査員の意見交換、情報収集タイム、午後の質疑応答、投票方法など）はいかがでしたか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。また、併せてその回答を選んだ理由や、内容もご記入ください。

わかりやすい	わかりにくい	工夫が必要	無記入
29 [35]	1 [6]	17 [9]	5 [6]
55.8% [62.5%]	1.9% [10.7%]	32.7% [16.1%]	9.6% [10.7%]

	理由
わかりやすい	○シンプルなので。ただ、最終で票が割れるよう委員の方の人数は奇数にされた方が良いかと思います。 ○とても丁寧な審査方法で、公正でわかりやすかった。 ○各事案に対して、市の補助金を助成判断する仕組みを、コンテストという形態で公開している。 ○全てオープン良かった ○全てが本当にオープンになっていることに驚きました。 ○全体的にわかりやすかった。全てが公開されているのよかったです。 ○大変でしたが、楽しかったです。ひとつのお祭りの様で、若い方達の力を信じます。 ○投票は奇数で (無記入：21)
わかりにくい	○応募団体の熱意が大きく、少し巾を広げてほしい。
工夫が必要	○・1プレゼンごとに質問等してもらった方が分かりやすい。・50万→500万等金額の変更を認めると、とりあえず提出した者勝ちになってしまわないか？ ○ピーアールタイムと質疑応答の差がない。わかりにく。 ○一律の質問などで、統一的な基準を示した方がよい ○何かモヤモヤとした決選投票でした。事前に決まらないことも想定していたと思いますが、たとえば参加者（当該団体以外の）投票も考慮するなどの工夫も必要だったと思います。 ○会場の中にも分りやすいタイムスケジュールがあると、審査の進め方がより分かりやすくなる感じた。 ○決選投票の方法について、審査員の数に奇数にすればいいと思った。 ○午後の質疑応答が2回に分かれていたが、違いがよくわからない。1回にして時間を長くしたら良い。 ○審査員が奇数の人数がよい

(承前) 2. 審査方法（審査員の意見交換、情報収集タイム、午後の質疑応答、投票方法など）はいかがでしたか。

	理由
工夫が必要	<input type="radio"/> 審査員の数を奇数にしてください。または決選投票はポイント制にしては？ <input type="radio"/> 審査員は奇数とすべき <input type="radio"/> 審査員は偶数だから、今回のようなこともあるのを考えておくべきだった。 <input type="radio"/> 申請団体数が多かった影響か、情報収集タイムのやり方に問題があったように思う・・・ <input type="radio"/> 全て公開という点は非常にオープンで良い方法ですが、ワサワサしすぎて聞き取りにくい点が残念でした。 <input type="radio"/> 同上（採点者は奇数人員にすべき。一般的ではない。今回の様になってしまう！） （無記入：3）
無記入	<input type="radio"/> 質疑応答の時間が少ない。問1に関連する。 <input type="radio"/> 途中で帰らざるを得ず、交流会に参加できなかったため。 （無記入：3）

3. 「ヨコハマ市民まち普請事業」をより充実させていくためにも、もっと市内での認知を広げたいと考えています。そのために例えば広報紙（ヨコハマ人・まち）、メーリングリスト、Facebookページなどで広報しておりますが、①ご自身がよくご覧になっているまちづくりに関する広報媒体や、②他に良い手段があればお聞かせください。

- ・まちづくり白書、・チラシ
- ①Facebook、HP。②Instagram
- WEB
- なし、②役所の職員が地域から話を聞いたとき、まちづくり事業のことを話してほしい。地域のまちづくり委員会に広報する。
- ホームページ、②自治町内会に配布し、回覧してもらう
- ヨコハマ人・まち
- 配架チラシ、②ケアプラザ生活支援コーディネーター向け勉強会→まち普請に申請するような団体の立ち上げや活動の支援を生コが行っているため。
- ②Twitterをよく見ます。
- Facebook
- PTA等にPRを
- TVのCM、ラジオでの広報
- アリスセンターや横浜市市民活動支援センターのMLでも知っていても、すごくハードルが高いという印象。職員がかなり入ってくれることも合わせて広報したらどうか。
- この制度もあまり知られていないのでもっとPRすべきです。
- コンピューターは持っていません。
- テレビCM
- テレビCMを買ったらいかが？テレビ神奈川だけでも。
- フェイスブックのイベントページでは、「まちづくり」というキーワードで興味のあるようなイベントが意図せず、アップされることがあり、また友人からの招待などもあり、フェイスブックをよく使用します。
- 各区の区連会などで広報して頂く。
- 区役所の役割は大きいです。
- 広報よこはま、町内会掲示板
- 今日のコンテストもそうだが、もっと広く見える場所で審査をやってみては？
- 地域包括ケアシステムのネットワークをご活用ください。

(承前) 3. 「ヨコハマ市民まち普請事業」をより充実させていくためにも、もっと市内での認知を広げたいと考えています。そのために例えば広報紙（ヨコハマ人・まち）、メーリングリスト、Facebookページなどで広報しておりますが、①ご自身がよくご覧になっているまちづくりに関する広報媒体や、②他に良い手段があればお聞かせください。

- 地区センターや図書館でもポスターや資料を見たり、手に取れると良いと思いました。
- 地元フリーペーパーetc
- 町内会にも連絡して欲しい。
- 電車バスの車内広告
- 配架されるチラシ
- 班の回覧板作りの？なものを利用。

#### 4. <提案グループメンバー以外の方にお伺いします>

一次コンテストをご覧になり、「ヨコハマ市民まち普請事業」に応募してみようと思いましたが、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。また、併せてその回答を選んだ理由や、内容もご記入ください。

はい	検討中	いいえ	過去に応募済み	無記入
5 [18]	6 [11]	9 [13]	6 [4]	26 [10]
9.6% [32.1%]	11.5% [19.6%]	17.3% [23.2%]	11.5% [7.1%]	50.0% [17.9%]

	理由
はい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○12件の内容を聞いて意欲が湧いた！</li> <li>○まちづくりに関わっているならば参加したい。</li> <li>○機会があれば地域のためになる地域での活動に参加してまち普請にも出てみたい。</li> </ul> (無記入：2)
検討中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○？の住民を巻き込みたい点がまだまだ？？？っていない。</li> <li>○今年度応募検討していましたが、準備速で断念したため。</li> <li>○地域の活動団体に応募の後押しを行うためには、まち普請の助成金の使途等についての知識が必要。</li> </ul> (無記入：3)
いいえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくりの参考にはしていきたい。</li> <li>○横浜市に引っ越してきてまだ日が浅い、</li> <li>○考えている案がないため。</li> <li>○市民団体ではなく、法人としてまちづくりに関わりたいから。</li> <li>○支援する立場です。</li> </ul> (無記入：4)
過去に応募済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ケアプラザなので、後方支援しています。</li> <li>○提案グループメンバーにはなっていないが、応募している事業との関わりがあるため</li> </ul> (無記入：4)
無記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○始めて</li> </ul> (無記入：25)



5. 「ヨコハマ市民まち普請事業」について、期待すること、提案したいこと、気づいたこと等がありましたら自由にご記入ください。

《ポジティブな感想・期待》

- すごくおもしろい助成制度だと思います。こんなに地域にこだわったものはあまりないと思う。○辞退したけど申請までこぎつけてよかった。プレゼンの進行の仕方もおもしろかったです。
- すごく良い事業だと思う。もっと地域の人に知ってもらいたい。意外と「まち普請」を知らない市民と出会うことが多い。
- たのしかったです。
- とてもいねいに相談にのってくださり感謝しています。
- とても学べる事業です。
- よりよい市民協働がんばってください。
- 皆さん素晴らしい計画をお持ちでした。
- 市民発信のまちづくり支援という画期的な取り組み。今後もより広まっていくように思っております。
- 資金のないボランティア団体には、とても良い事業と思います。
- 自由でいいと思います。
- 素晴らしい仕組だと思います。庁内他部署にもこの仕組は活用できると思います。
- 二次審査を楽しみにしています。

《提案》

- 予算の増額
- 金額・・・助成金をもっと増やしてほしい
- 衛生面に十分気をつけてください。
- 委員の数は奇数だと票が割れないのでは。
- 数も増えてきたので、近いところ同士がもっとつながっていけないか？区ごとにもっと連携できないか？面にひろがっていけないか？

《改善希望》

- 昼食をとる場所だけでも確保願いたい！

《その他》

- 書類選考はどのように行っているのですか？今回の14組（12組）をピックアップした理由、3グループを選ぶにあたり、ママ、ママいうグループばかりを選ばないでと願います。傾向を分散させて欲しいです。
- ・参加することで、市民同士が仲間意識を持つこと。・モノが残ることで、地域への愛着がより湧く。

6. コンテストは何でお知りになりましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

ちらし（※1）	25 [29]	48.1% [51.8%]
インターネット（※2）	14 [17]	26.9% [30.4%]
メールマガジン	1 [1]	1.9% [1.8%]
提案グループからの紹介	15 [8]	28.8% [14.3%]
その他（※3）	4 [8]	7.7% [14.3%]

※1：入手先 地域ケアプラザ＝11、区役所＝6、横浜市役所＝4、区民活動支援センター＝2、市民活動支援センター＝1、その他＝6（新聞、自治会活動で、反町駅前ふれあいサロン、応募した人に聞いた、使った人がいた）

※2：横浜市＝6、ヨコハマ市民まち普請ひろば（公認Facebookページ）＝5、Facebook（公認ページ以外）＝2、市民セクターよこはま＝1

※3：その他の内容＝知人、区長より、辞退したけど応募したので

■ ヨコハマ市民まち普請事業 30年度整備の状況 ■

整備提案名	提案グループ名	区	概要	申請金額 (万円)	現況
1 #BuildingTogether太陽ローズハウス	荇子田太陽公園愛護会グループ	青葉区	公園交流拠点	500	・整備助成金申請書作成中 ・確認申請提出書類依頼中
2 「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備	美しが丘アセス委員会遊歩道ワーキンググループ	青葉区	遊歩道再整備	500	・4/26, 5/30 整備助成金交付決定 (31万) ・工事測量実施中
3 中田のえんがわ「宮ノ前テラス」多世代交流スペース	宮ノマエストロ	泉区	公園隣地交流拠点	500	・5/7, 23 整備助成金交付決定 (410万) ・柵撤去、土木工事完了

●宮ノマエストロの整備状況

